

公開シンポジウム

テーマ：「近代アジアの出産と介助者—ジェンダーの視点から」

日時：2009年6月6日（土）13：00～17：00

会場：奈良女子大学 生活環境学部A棟1階会議室

〒630-8506 奈良市北魚屋西町（近鉄奈良駅から徒歩約5分）

報告1：松岡悦子氏（奈良女子大学教授）

「なぜ産婆は専門職化に失敗したのか —戦前の「産師法案」をめぐる動きを通して」

報告2：傅大為氏（台湾・陽明大学教授）

「植民地時代の台湾における医療の近代性と出産・産婆」

*中国語による報告となりますが、日本語レジュメと日本語pptを準備します。

報告3：姚毅氏（フェリス女学院大学講師）

「近代中国における産科医と助産士の境界をめぐるポリティックス」

コメンテーター：石崎昇子氏（専修大学講師）

司会：野村鮎子氏（奈良女子大学教授）

ジェンダー史学会、奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター共催（創立百周年記念事業）

アクセスは、以下の奈良女子大学HPを御覧下さい。

<http://www.nara-wu.ac.jp/accessmap.html>